

調達機能としての価値発揮の力を強化する

調達担当者のための 調達物流知識習得セミナー

(旧名称：調達担当者のための物流知識習得セミナー)

開催日時

2025年 6月17日(火) オンライン

2026年 2月12日(木) オンライン 各回とも 10:00~16:30

対象

- 全体最適の視点で、調達と物流ロジスティクスを合わせて強化を図りたい調達担当者の方々
- グローバル調達を担当される調達担当者の方々

講師

八島 俊彦 氏
SSMリサーチ 代表

参加料(税込)

法人会員：55,000円/1名
会員外：66,000円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

物流は調達とともにサプライチェーンの重要な構成要素です。日本ではサプライヤーが指定納入場所へ輸送する取引が一般的であり、バイヤー自身は調達物流を直接ハンドルしないのが通常です。

ただ、ここで意識しなければならないのは、「**調達物流の寸断は供給の途絶に直結**」、「**調達物流コストは調達コストの一部**」だということです。このことから、バイヤーも調達物流をよく知る必要があると言えます。また、あえてバイヤーが管理して、全体最適化を狙う打ち手があることを知っておくのも良いでしょう。

本セミナーでは、バイヤーの世界標準である“調達+調達物流”の知識を得ていただくべく、物流の基礎および各種施策の理解を深めていきます。

参加者の声

- 資料の見せ方、説明の仕方がお上手で、ひきこまれました。内容もバイヤーが関心を持ってそうなものが多く参考になりました。
- 調達として知っておきたい物流の知識を解説いただけました。わかりやすかったです。
- 物流における基礎的なことや事例も交えて説明いただけましたので、内容の理解がしやすかったです。物流を取り巻く現状や費用面も数値やグラフで表現されていたので、納得感があった。
- 具体例がいろいろあったのがよかったのと、参加者を巻き込んでもらったのがよかったです。
- 経験談も踏まえながらご説明いただいたので、内容に説得力があった。

■ プログラム

10:00~16:30 [昼食] 12:00~13:00

1 物流と調達の関わりを押さえる

- 国際調達における物流
- 国内調達における物流
- 調達にとっての物流

2 物流とは何かを知る

- 物流業界の現況 - 2024年問題の先-
- 物流、ロジスティクス、SCM
- 物流の6大機能
- 物流コスト
- 物流業務委託
- 物流起因のリスク

3 調達に関係する物流事象を理解する

- グローバル調達における物流
- 国際物流
- インコタームズ
- コンテナ輸送
- モード・ルート選択の工夫

4 調達におけるトータルコスト低減のための物流施策

- トータルコスト低減のための物流施策
- 調達物流の打ち手
- ミルクラン
- 集荷センター
- VMI
- クロスドッキング
- バイヤーズコンソリデーション
- 物流費低減のための施策

5 調達におけるこれからの物流施策

- 物流と環境
- 物流を中心に考えたオペレーション
- 新世代テクノロジー
- フィジカルインターネット

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

